

平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月9日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 白鳥弘之
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 054-281-5238

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第3四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	10,281	△1.4	602	22.4	562	28.6	395	42.5
26年8月期第3四半期	10,422	△3.4	492	△29.1	437	△31.2	277	△36.7

(注) 包括利益 27年8月期第3四半期 396百万円 (33.0%) 26年8月期第3四半期 298百万円 (△41.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	33.18	32.68
26年8月期第3四半期	23.38	23.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第3四半期	16,877	6,894	40.5
26年8月期	16,811	6,570	38.4

(参考) 自己資本 27年8月期第3四半期 6,831百万円 26年8月期 6,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年8月期	—	5.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年8月期期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭

3. 平成27年 8月期の連結業績予想(平成26年 9月 1日～平成27年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	2.0	750	32.9	700	37.9	400	41.4	33.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年8月期3Q	12,189,720 株	26年8月期	12,189,720 株
27年8月期3Q	165,503 株	26年8月期	311,739 株
27年8月期3Q	11,929,099 株	26年8月期3Q	11,877,981 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見直し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年9月1日～平成27年5月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られるなど緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、個人消費の弱さや海外景気の下振れなど懸念要因もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する健康食品市場は、消費増税による消費回復の遅れに加え、広告投入による顧客獲得競争や価格競争の面で企業間の競争は一段と激しさを増しており、厳しい経営環境が続いております。一方、関心が集まる機能性表示食品は、大手企業を中心に届出が受理されており、6月に対応商品の上市が始まりました。

主力のOEM部門においては受注が堅調に推移し増収となったものの、前期に行った不採算店舗の閉鎖が影響し店舗販売部門が減収となったことや、厳しい経営環境下、通信販売部門及び卸販売部門が減収となったことなどにより、当第3四半期連結売上高は10,281百万円(前年同期比1.4%減)となりました。損益面については経費節減効果により、営業利益602百万円(前年同期比22.4%増)、経常利益562百万円(前年同期比28.6%増)となり、加えて投資有価証券売却益など特別利益を計上したため、四半期純利益は395百万円(前年同期比42.5%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

主力事業である当部門は、定番商品の堅調に加え、青汁、スムージーなど一般食品寄りの商品ならびに酵素、酵母関連商品が好調に推移いたしました。さらに、ココナッツオイル、えごま油などのブーム商品の特需が加わったことにより、売上高は前年同期比3.0%増となりました。

機能性表示食品に関しては、先行社の状況を見極めた上で早急に対応してまいります。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、引き続きフィリピンにおいて美容商材が安定的に推移したほか、シンガポールにおけるAFC代理店からの受注増により、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

予てより手続きを進めていたインドネシアへの美容ドリンクの輸出許可が下り、今期中に搬入する予定です。

・通信販売部門

インターネット販売は、引き続き顧客ニーズに合った広告展開が奏功し好調に推移したものの、部門全体では、昨年、話題となった希少糖関連商品の受注が減少したことなどにより、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

広告費の見直しによる利益改善を継続しており、商品、媒体の選定など効率を重視した広告展開による新規獲得に努めてまいります。

・卸販売部門

主要販路であるドラッグストアや量販店の店頭において、サプリメント「ハートフルシリーズ」にアイキャッチシールを導入し拡販に努めたほか、顧客ニーズを逸早く捉え、ココナッツオイルやチアシード商品をスピーディーに製品化し配荷いたしました。しかしながら、昨年の希少糖ブームにより好調であった「レアシュガーシロップ+オリゴ糖」の受注が減少したことなどが影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

引き続き、販売促進活動の見直しを図るとともに、顧客ニーズに合った商品開発を継続してまいります。

・店舗販売部門

当部門は“百貨店における店舗販売”“百貨店外商部での販売”“百貨店とタイアップした通信販売”の3つを販路としております。

健康食品の定期購買を積極的に提案し、顧客の囲い込みによる収益の安定化に努めるとともに、ゼリー形状のサプリメントの拡販に注力いたしました。また、首都圏及び大阪市内においては訪日外国人観光客による売上増加がありました。しかしながら、前期に行った不採算店舗の閉鎖が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高9,296百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益917百万円(前年同期比13.7%増)となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、新たな取扱製品を投入したことに加え、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効能効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業についても、既存のルートに加え、OEM（相手先ブランド）の提案など、積極的な営業活動及び販売促進活動などを行いました。

しかしながら、本草製薬㈱の医薬品の売上が、工場移転に伴う欠品の影響などにより前年同期を下回ったことに加え、㈱エーエフシーにおいて医薬品を販売していた不採算店舗を閉鎖したことが影響し、医薬品事業全体では、売上が985百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益47百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ346百万円増加し、8,463百万円となりました。この増加要因は主として、有利子負債の返済を進めたことなどにより現金及び預金が127百万円減少した反面、原材料及び貯蔵品が196百万円、流動資産のその他が137百万円増加したことによるものであります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ281百万円減少し、8,413百万円となりました。この減少要因は主として、投資有価証券の売却などにより投資その他の資産のその他が163百万円減少したことに加え、当社において既存倉庫の隣接地を取得したことにより、土地が166百万円増加したものの、減価償却などにより有形固定資産全体では116百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、6,626百万円となりました。この減少要因は主として、当社の社債が償還期限が1年内となり固定負債から振替られた影響などにより流動負債のその他が347百万円増加したほか、支払手形及び買掛金が341百万円増加した反面、長期借入金への借換えなどにより短期借入金が818百万円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少し、3,355百万円となりました。この減少要因は主として、短期借入金の借換えにより長期借入金が222百万円増加した反面、流動負債への振替などにより社債は350百万円減少したほか、固定負債のその他が132百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ324百万円増加し、6,894百万円となりました。この増加要因は主として、四半期純利益の計上により利益剰余金が276百万円増加したほか、新株予約権行使による自己株式の交付により、自己株式が107百万円減少したものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月10日の「平成26年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,119,317	3,991,317
受取手形及び売掛金	1,689,861	1,774,903
商品及び製品	870,795	938,271
仕掛品	552,629	539,150
原材料及び貯蔵品	662,069	858,839
その他	227,951	365,074
貸倒引当金	△5,602	△4,245
流動資産合計	8,117,022	8,463,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,047,322	2,899,035
土地	4,075,187	4,241,825
その他(純額)	885,348	750,426
有形固定資産合計	8,007,859	7,891,287
無形固定資産		
のれん	6,122	5,356
その他	39,829	45,429
無形固定資産合計	45,951	50,786
投資その他の資産		
その他	664,475	500,679
貸倒引当金	△23,369	△28,973
投資その他の資産合計	641,106	471,705
固定資産合計	8,694,917	8,413,779
資産合計	16,811,940	16,877,090
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,645,359	1,986,431
短期借入金	3,796,273	2,977,657
未払法人税等	41,679	120,735
賞与引当金	92,700	139,050
ポイント引当金	45,000	43,000
その他	1,012,007	1,360,002
流動負債合計	6,633,019	6,626,876
固定負債		
社債	350,000	-
長期借入金	1,992,402	2,215,234
役員退職慰労引当金	367,655	364,545
退職給付に係る負債	208,219	218,420
負ののれん	3,943	3,520
その他	686,534	553,614
固定負債合計	3,608,754	3,355,334
負債合計	10,241,773	9,982,211

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,482,684	1,474,355
利益剰余金	3,777,680	4,054,276
自己株式	△228,223	△121,164
株主資本合計	6,437,639	6,812,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,705	18,405
その他の包括利益累計額合計	13,705	18,405
新株予約権	118,820	57,910
少数株主持分	—	5,597
純資産合計	6,570,166	6,894,879
負債純資産合計	16,811,940	16,877,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	10,422,654	10,281,646
売上原価	7,258,047	7,223,579
売上総利益	3,164,606	3,058,066
販売費及び一般管理費	2,672,312	2,455,682
営業利益	492,294	602,383
営業外収益		
受取利息	745	249
受取配当金	10,110	19,690
受取賃貸料	11,625	14,791
負ののれん償却額	422	422
助成金収入	13,121	-
その他	9,809	6,736
営業外収益合計	45,835	41,891
営業外費用		
支払利息	85,219	72,743
その他	15,473	8,999
営業外費用合計	100,692	81,743
経常利益	437,436	562,532
特別利益		
投資有価証券売却益	2,863	32,911
新株予約権戻入益	-	876
特別利益合計	2,863	33,787
特別損失		
固定資産売却損	-	747
固定資産除却損	3,329	1,558
特別損失合計	3,329	2,305
税金等調整前四半期純利益	436,971	594,014
法人税、住民税及び事業税	189,448	220,418
法人税等調整額	△30,202	△18,631
法人税等合計	159,246	201,787
少数株主損益調整前四半期純利益	277,725	392,227
少数株主損失(△)	-	△3,595
四半期純利益	277,725	395,823

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	277,725	392,227
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	20,615	4,699
その他の包括利益合計	20,615	4,699
四半期包括利益	298,340	396,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,340	400,522
少数株主に係る四半期包括利益	-	△3,595

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,346,834	1,075,820	10,422,654
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,346,834	1,075,820	10,422,654
セグメント利益	806,935	70,185	877,120

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	877,120
全社費用(注)	△384,826
四半期連結損益計算書の営業利益	492,294

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,296,010	985,635	10,281,646
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,296,010	985,635	10,281,646
セグメント利益	917,233	47,210	964,443

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	964,443
全社費用(注)	△362,059
四半期連結損益計算書の営業利益	602,383

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。